２０１８年（平成３０年）１０月１６日　火曜日

東奥日報　１０面　掲載

第71回 秋季東北高校野球 第３日

光星逆転勝ち4強

第71回秋季東北地区高校野球大会は第3日の15日、秋田市のこまちスタジアムなどで準々決勝4試合を行った。県勢は八学光星（第1代表）が羽黒（山形第2代表）と対戦。五回に奪ったリードを守り切り、3―2で接戦をものにした。16日は試合がなく、大会第4日の17日は同スタジアムで準決勝2試合を行い、八学光星は花巻東（岩手第2代表）と対戦する。

（秋村有香、工藤俊介）

▽準々決勝（秋田市さきがけ八橋球場）

八学光星	0	0	0	0	3	0	0	0	3	
羽黒（山形）	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2

（八）後藤―太山
（羽）篠田―本田
▽本塁打　鈴木（羽）
▽二塁打　近藤、後藤（八）鈴木、日下部（羽）

【評】八学光星は0―1の五回、2死満塁から3番武岡の安打で同点とすると、4番近藤も2点適時打で続き、逆転に成功した。六回に1点を奪われたが、そのまま1点差を守りきった。先発後藤は二回にソロ本塁打を浴び1点を先制されたものの、中盤以降は安定感のある投球を披露。八回の2死満塁のピンチも三振で切り抜けて完投、10奪三振で勝利に貢献した。

光るスライダー 10K完投

ヒーロー　後藤

八学光星の1点リードで迎えた九回1死一塁。打者に内野ゴロを打たせきっちり併殺に打ち取るのを見届けると、主戦後藤の表情が和らぎ、笑顔が広がった。ピンチを冷静に切り抜け、目標のセンバツ出場にまた一歩近づいた。

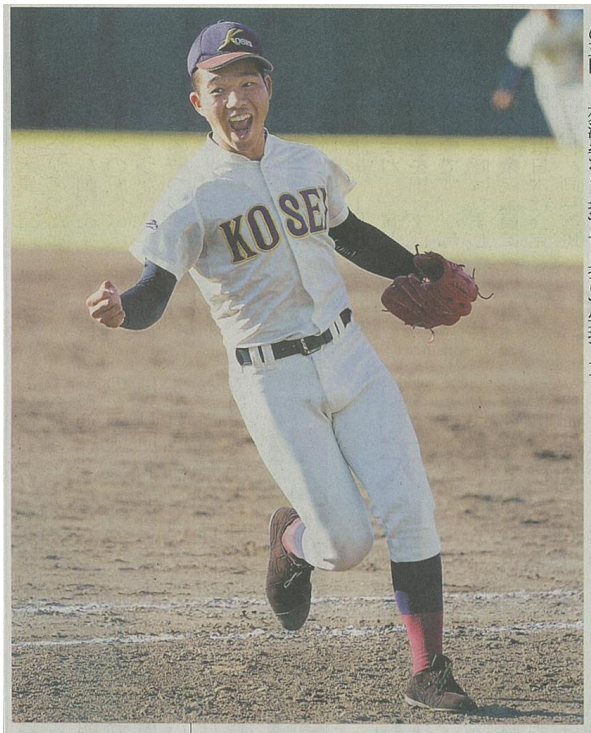
二回、羽黒の4番鈴木に右越え本塁打を打たれ先制を許した。だが、ここで思い出したのは今春の東北大会準決勝、先発で先頭打者に本塁打を浴び崩れた苦い経験。「あの体験があったから、冷静でいられた」と、続く打者を三振、内野ゴロ、三振に打ち取った。

最大のピンチは八回。安打と四球などで2死満塁に。緊張した姿を仲間に見せまいと笑顔を絶やさなかったが「がちがちでした」と後藤。心を落ち着かせて直球で追い込み、最後は決め球のスライダーで三振。この日一番の雄たけびを上げた。

今夏は甲子園メンバーから外れ、悔しさを練習にぶつけてきた。下半身の強化で制球力を磨き、この日の10奪三振は、ほぼスライダーで仕留めた。

「自分の仕事はスコアボードにゼロを並べること」ときっぱり。「絶対にセンバツに行きます」と頼もしく語った。

（秋村有香）



【八学光星―羽黒（山形）】羽黒打線を7安打2失点に抑え、完投勝利を飾った八学光星の主戦・後藤＝秋田市さきがけ八橋球場

【八学光星】	打	安	点	振	球
④ 藤原（2）	4	1	1	1	0
⑥ 岡藤（2）	4	1	1	2	0
③ 江山（2）	4	1	2	0	0
⑦ 波藤（2）	4	2	0	0	0
⑤ 残原	2	2	0	0	0
② 回大下	3	0	0	1	0
⑨ 9後藤	3	1	0	2	0
計	31	7	4	6	0

【羽黒】	打	安	点	振	球
④ 島原（2）	3	1	0	0	0
⑥ 部木（2）	3	0	0	1	0
③ 下由（2）	3	0	0	0	0
⑦ 藤石（2）	3	1	0	0	0
⑤ 伊藤（2）	3	1	0	0	0
① 浅田（2）	3	1	0	0	0
② 齋藤（1）	3	1	0	0	0
① 本山（1）	3	1	0	0	0
計	27	5	0	1	0

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	失
八学光星	0	0	0	0	3	0	0	0	3	2
羽黒（山形）	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2

	打	安	点	振	球
八学光星	31	7	3	10	2
羽黒（山形）	31	5	2	10	4

【八学光星】打＝藤原、岡藤、江山、波藤、残原、大下、後藤
【羽黒】打＝島原、部木、下由、藤石、伊藤、浅田、齋藤、本山
【八学光星】投＝後藤
【羽黒】投＝本山、佐藤、五十嵐、中北、日下部
【二塁打】近藤、後藤（八）鈴木、日下部（羽）
【本塁打】鈴木（羽）
【三塁打】近藤、後藤（八）
【盗塁】伊藤（羽）
【暴投】本山
【審判】球＝阿部（盛）塁＝島上（盛）
【試合時間】2時間57分

秋田修英　000 100 000　1
古川（宮城）　001 000 02×　3
（秋）西岡―山内
（古）千坂、高橋寛

酒田南（山形）　000 000 000　0
盛岡大付（岩手）　401 001 1×　7
（七回裏一死により）コールドゲーム
（酒）伊藤海、渡辺―榊原
（盛）阿部―島上

▽本塁打　小川（盛）
▽三塁打　佐藤（秋）

仙台育英（宮城）　001 400 000　5
花巻東（岩手）　000 300 000　3
（延長十回）
（仙）大栄、猪股
（花）西舘、古川端、佐藤、中森―武田
▽本塁打　小濃（仙）

あすの試合

（左のチームが一塁側）

▷準決勝
◇こまちスタジアム
花巻東―八学光星（12：30）

次戦は、強豪の聖光学院（福島1）と仙台育英（宮城1）をいずれも逆転で撃破した花巻東（岩手2）。「しっかりした気持ちを持つ。（休養日の）1日で技術も伸ばしたい」と話した。

「しっかりした気持ちを持つ。（休養日の）1日で技術も伸ばしたい」と話した。

求めた。

成長した」と褒めた。

一方、打線には辛口の評価。「（相手投手の）直球を捉えられていなかった。打撃の質が低い」と個々のレベルアップを

打撃の質向上求める

○…4強進出を決めた八学光星の仲井監督は、

「闘争心の強い子」とし「周りが見えなくなってしまう面があり、県大会から、みんなとやっている意識を持て―と言ってきたが、

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです